

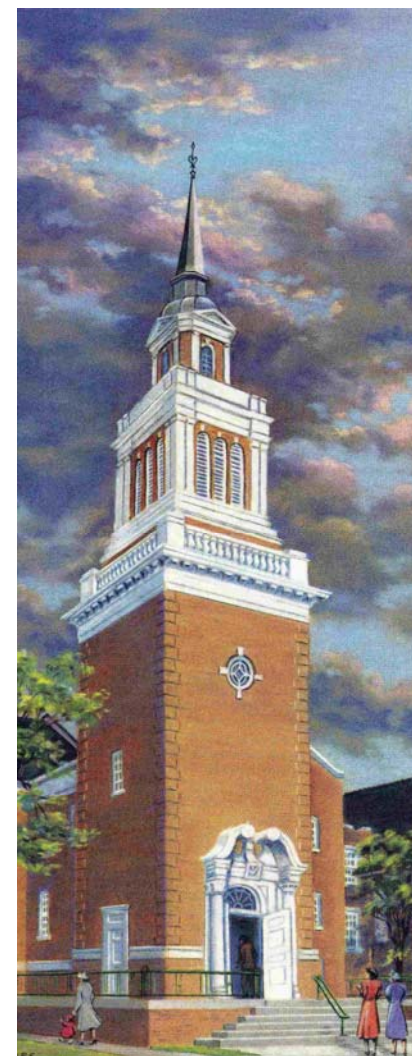
## 感謝録

荒井 久和子姉	不破 満雄兄	加納 幸子姉
小坂 るみ姉	三縄 博兄	三縄 都美子姉
坂田 淑姉	下竹 博兄	下竹 寛子姉
武井 里花姉	Scroggins 由紀牧師	

## 記事: 消息

- \* 過ぎにし聖日(5月12日)
  - 一 由紀牧師の説教: "御聖霊が語らせるままに"と題して、使徒行伝2章1-4節からでした。五旬節というユダヤ人にとって大切な、モーセの律法が神の御言葉として与えられたことを記念する日、そして麦の刈り入れの初めを祝う日に、心を合わせて祈っていた弟子たちに御霊がくだり、彼らは神の御言葉を自分達が習得していない言語で語りました。そしてユダヤ人だけでなく異邦人にも神の救いが与えられる恵みの福音を告げられました。この日は、モーセの律法にかわって、主イエスの福音が御霊の働きによって世界全土に伝えられ始め、また霊の刈り入れが始まった記念すべき日です。
  - 一 聖書研究: ローマ人への手紙9章30-33節からでした。主イエスの福音は、信仰によって律法を知らない異邦人も義とされます。イザヤ書28章16節によれば、主イエスは、家を建てる土台の隅の石であります。律法の行いによって義とされようとしたユダヤ人にとっては、"つまづきの石"であることをパウロは教えています。律法の行いでなく、主イエスの福音を信じる者が義とされる恵みについて考えました。
  - 一 母の日を祝って、お母さん方、および全部の女性方に教会から、大変ユーモアのあるギフトが贈られ、一同の笑いと拍手の中でひと時を持ちました。して下さった下竹博兄に感謝いたします。
- \* 5月19日(日) 10:30am からの合同礼拝に引き続き、  
合同のランチと第107回の年次総会が、"Honoring our Past, Shaping our Future" という主題で持たれますので、会員の方は必ず出席されるようお願いいたします。 Laura Harris-Adam姉の "Call story" を聞き逃さないように。
- \* 5月25日(土) 3pm Kraft Chapel  
Memorial Service of Thanksgiving for the Life of Insoon Fuwa  
去る1月に昇天された Insoon Fuwa姉の生涯を偲び、主に感謝する記念のサービスが行なわれます。 どなたも歓迎。

発行: 2013年 5月 14日 ノースショア・バプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
Tel: 773-728-4200 Ext.26 Email: yscroggins@northshorebaptist.org



# 週報

第3434号  
2013年 5月 19日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Congregation

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Tel: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

ペンテコステ日曜日礼拝順序  
合同礼拝

2013年 5月 19日 午前10時30分 主会堂

礼拝のプログラムは、当日主会堂入り口で手渡されます。

---

ペンテコステ

ペンテコステは、クリスマスおよびイースターと共に、キリスト教の3大祝日の一つですが、キリスト教の信徒の間でも、クリスマスやイースターと同じような親しみがないように思われます。クリスマスがキリストの誕生、イースターがキリストの復活と、どちらも強くキリストと結びついているのに比べて、ペンテコステがキリストと深く結びついたものであることに、あまり気づかないからではないでしょうか。ペンテコステに降った聖霊は、決して単なる神の霊ではありません。この聖霊は、十字架の上に死に、三日目によみがえって昇天されたキリストの霊であることにもっと注意しなければならないと思います。

“すなわち、ヨハネは水でバプテスマを受けたが、あなた方は間もなく聖霊によって、バプテスマを授けられるであろう”。

(使徒行伝 1章5節)

“ガリラヤの人たちよ、なぜ天を仰いで立っているのか。

あなた方を離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなた方が見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう”。

(使徒行伝 1章11節)

---

合同ランチ及び

第107回年次総会

礼拝後

Howel Hall

---

祈祷・聖書学習会

時間の都合で中止いたします。

---

今週の聖句

使徒行伝 2章 1-21節

詩篇 104篇 24-34, 35b 節

ローマ人への手紙 8章 14-17節

ヨハネによる福音書 14章 8-17, (25-27)節

憩いの場

神につくられた者

“わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリストイエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えてくださったのである。” (エペソ人への手紙 2章10節)

あるとき、親戚にプレゼントを探すのに頭を悩ましていたとき、偶然入ったギャラリーで、レジに赤い薔薇を入れた飾りを見つけて、何に使うかもわからなかったのですが、きれいなので買ってわたしたら、結構喜ばれました。人にプレゼントを贈るのは、適当なものを探そうとするとなかなか時間がかかりますが、デパートよりも美術館やギャラリーのギフトショップには、ユニークで面白いものがあるような気がします。作者が個人的に作り出したものは、マスプロダクションのものよりも、作品に思いがこめられているからでしょうか。

さて、エペソ人への手紙2章には、“わたしたちは神の作品である”と書かれていますが、この作品ということばには二つの意味があると思います。ひとつは神がわたしたちの創造主であるという受動的な意味、そしてもうひとつが、わたしたちが能動的により行いをするために、神が備えてくださった、という意味です。ここでつかわれている作品ということばには、単につくられた、というよりも思いをこめられて作られた傑作 (Masterpiece) に近い意味があります。私たちは日ごろ、神がどのような意図を持って私たちを作られたのか意識していないことが多いと思いますが、私たちが自分で考えるよりはずっと、計り知れない神のご栄光をあらわすために、より大きな働きのために作られたかもしれませぬ。私たちの人生の行いが、御霊のお力によりきよめられ、主によって備えられた目的を行う事ができますようにお祈りします。

(スクロギンズ由紀)